

第2回そだつ部会会議録

日 時	2016年5月17日(火) 13:30~15:30
場 所	地域連携交流施設
テ ー マ	1、参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内 容	<p>1、参加メンバー：10名</p> <p>2、協議課題</p> <p>○かけはし CAFÉ (欠席は西山先生)</p> <p>開催日時：7月5日(火) 10:00~11:30 地域連携交流施設</p> <p>集合時間：9時30分 打合せ及び準備</p> <p>内容の検討 部会メンバー自身の紹介ページを作成</p> <p>前回注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトの手助け ・デコらず文字だけでもいい ・支援者に見せるので、苦労しているところ・手助けしてほしいところを記入 ・書きたい所を書いて、後でレイアウトしていい→パーツを先につくるといい ・すき間があってもいい ・書いている時に声かけ、恥ずかしくない雰囲気の声かけ ・「かけはし」の表紙 ・キャッチフレーズ・スローガンを記入する ・最後はラミネートする ・皆のものを見て、書く発見になる ・何を伝えたいかを明確にする ・写真を使うと紹介しやすい ・知ってもらう事が恥ずかしいと思う人に支援者の物を見せる ・ダラダラ書かない ・見る人の視点も考える ・書く項目がいくつか例があった方がいい ・特徴が分かるように書く <p>「かけはし」を書く時の支援者の注意ポイント 2人のデモンストレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テンポのいい声かけ ・やさしい、寄り添っている雰囲気 ・苦手な所から書いていく声かけ ・気になる所を書きだす→引き出して書くことに集中 ・書くより話を聞いている ・声のトーンはやさしい雰囲気で ・書く順番は人によって違うので、苦手な所からでもいい

○課題について検討

支援をつなぐ

- ・ニーズをもとに、支援をつないでいく
- ・「支援をつなぐ」関係づくり
- ・対象がはっきりしているほうがいい。例：小学校に上がった時のサポート（幼稚園のとき）
- ・対象者の参加しやすい時期がいい
- ・「支援をつなぐ」とは保護者に不安があるという事。保護者の不安には、事実を伝えることで軽減する

例：白ご飯きらい→給食の具体例など

- ・支援学校・学級の対応のちがい。違いを発見するために現地を両方みたいのではないか
- ・支援者を変えたら、数回現場の見学ができるのではないか
- ・教育委員会では、保育園に声がけし、見学に行きたい人がいれば教えてほしいと伝えている。何度も現地に見学に行っている。数回行く人もいる

例：2時間目見学して、その後別室で個別に相談

- ・すこやか環境 G の「たけのこ」「たんぼぼ」で特別学級の説明は 9 月頃行っている。教育委員会では、小学校のオープンスクールの見学会や体験入学なども行っている
- ・自立支援とすこやか環境 G で同じ事をやる必要はないのではないか
- ・「支援をつなぐ」と「情報を提供する」のはちがう

例：合同のイベントをやって、どのような支援をしているのか小学校と幼稚園とが横のつながりを持つ

→「支援をつなぐ」という意味を再確認する必要があるのではないか

- ・進路の変更を考えている人への情報提供は必要ではないか

3、その他

○はたらく部会

- ・はたらくみんなのお茶会運営委員募集 障害別 2 名程度先着順
- ・はたらくみんなのお茶会：7 月 30 日（土）
- ・金融セミナー（当事者 9：30～・保護者向け 11：00～）同日開催予定
- ・はたらく現場見学会：6 月 28 日（火）10：00～ ワークプロジェクトにし

○推進会議・全体研修会

- ・推進会議：6 月 29 日（水）10：00～ 播磨町役場 ABC 会議室
- ・全体研修会：7 月 28 日（木）10：00～12：00 播磨町健康いきいきセンター
「暮らしやすさのために私ができること」

講師：平塚職員・手をつなぐ育成会機関誌編集委員 又村あおい氏

4、次回開催日の調整

平成 28 年 7 月 26 日（火）13：30～15：30

場所：地域連携交流施設